

## 市民プロジェクト 会議概要

## 第1回 市民プロジェクト

開催日時	平成25年6月20日(木) 午後7時10分～午後9時05分	
会場	北区白新町2丁目 長岡屋 2Fホール	
参加者	メンバー	小日向、中川、大脇、吉田、佐藤、井嶋、内山、田中、上杉、長谷川、中村、小池、曾我、富澤、鈴木、箱岩、渡部、服部、山岸、船山、高野、村山、横山、渡辺、鈴木、牧野、相沢、五十嵐(智)、五十嵐(信) (敬称略) (欠席者: 中村、井越、やまだ、佐藤、上野、青木、藤崎、松井) <b>太字は女性</b> 計 29名
	事務局等	豊栄駅前通商店街振興組合 1名 事務局チーム 6名 計 7名
内容	<p><b>1 開会(午後7時10分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局メンバー自己紹介及び本日のプロジェクト次第について</li> </ul> <p><b>2 オリエンテーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1～資料5の順に従って資料説明</li> <li>質疑応答</li> </ul> <p>(質問)・検討委員会には、関係自治会や関係団体のもっと多くの関係者が委員として構成されるべきだと思うが、絞り込んだ意図は何か?</p> <p>(事務局)・全体構成の中で、「広く地域住民からの意見を聴く」ための市民プロジェクトの構成に重きを置いた。年4回の検討会よりも年8回の市民プロジェクトで具体的な構想案をより深く検討できるように、検討委員会委員以外の自治会の長へは、ほとんど直接主旨説明を済ませており、自治会経由で推薦いただいた参加者がこの市民プロジェクトに参加していただいている。</p> <p>(質問)・区役所移転が決まった上で、その後の跡地をどうするか?ということを考えればよいのか?それとも、どこに移転すべきなのか?を考えればよいのか?</p> <p>巷では、移転先などの噂も聞かれるのだが・・・。</p> <p>(事務局)・あくまでも昨年7月に自治協議会が示した要請書の域を超える決定は、されていないという認識です。噂は噂の範疇でしかないと考えています。</p> <p>この市民プロジェクトでは、葛塚中心部の将来像や北区全体としてのまちづくりという事から議論を始めます。こんな街になって欲しいと思うから、こんな機能が欲しいと考える。その機能を果たす上で、現在の区役所の場所は大きなポイントとなる。結果として、具体案の中に「区役所機能」が取り上げられる場合もあるだろうし、違う機能がクローズアップされることもあるでしょう。移転の賛成反対という立場からスタートするのではなく、あくまでも将来像を見据えた議論を期待しています。</p> <p>(質問)・この市民プロジェクトと検討委員会との関係性としては、3回の市民プロジェクトの経過を検討委員会に中間報告する際に、市民プロジェクトの参加者が検討委員会に出席して報告することも視野に入れているのか?</p>	

(事務局)・現在のところ、資料2で説明している進行で進めますが、市民プロジェクトのメンバーから検討委員会での出席・報告についても、要望があれば検討委員会への申し入れをして実現させたいと思っています。

(質問)・現在の区役所庁舎の敷地面積や新庁舎の必要面積等を教えてください。

(事務局)・現区役所の敷地面積は約5,600㎡、必要面積は約10,000㎡です。  
検討委員会議事録でも示してありますが、必要面積は庁舎を複層階にすることで減らすことも可能ですので、必ずしも上記面積は必要ない場合もある。  
検討委員会に示した資料は、要望があればコピーでお渡しします。

(質問)・この市民プロジェクトが「夢や理想」を語るだけなら、毎月で計8回も必要ないのではないか？

(事務局)・この市民プロジェクトが作成する予定の「素案」は、検討委員会の議論を経て「最終案」という形で自治協議会に提案されます。できれば、そのままの形で自治協議会に承認されて、新潟市長へ要請されることを望んでいます。  
従来からもそうでしたが、「夢や理想」だけを行政に提案しても無視される。無視されないような「地域が要望する具体案」を積み上げる必要があると思います。このような回数を想定しました。機能、施設、事業主体、予算規模、運営などより具体的な「素案」を組み立てるためであると理解してください。  
第1回から第3回程度は、将来像を明確にするという議論になりますが、第4回目以降は、A案、B案、C案等自分が推す案毎のチームでの活動となります。他チームの論拠、計画の具体性、精度を確認しながら、競い合っ自案が公開シンポジウムで共感を得られるような行動をとると思われま。そのような切磋琢磨を想定したスケジュールであると考えていただきたい。

(質問)・区役所跡地という表現ですが、昭和37年に建設された本館は、取り壊すことは決まっているのでしょうか？

(事務局)・耐震性の問題もあり、本館庁舎については取り壊すことになると思います。  
「区役所跡地」という表現は、本館庁舎を取り壊した跡地というふうに解釈していただいて、移転による跡地とは違う意味で検討してもらいたい。

(質問)・あくまでもこの市民プロジェクトは、区役所をどこに移転すべきなのか？ということ議論するのではなく、跡地をどう利用して「まちづくり」を進めるかを議論することになると理解すればよいのか？

(事務局)・そのように理解していただきたいと思います。

(質問)・中心部の都市計画決定が完了していない箇所があるという説明だったが、どの場所のことを言っているのかわからなかった。説明してほしい。

(事務局)・白新町(新発田信用金庫前)交差点から、下町十字路交差点までの間が、都市計画決定されているが未整備の区間です。この区間の西側は線引き通りになっていますが、東側は未整備で計画年度も示されていません。ちょうどこの市民プロジェクトが検討を進める現区役所の前面区域となっています。

(事務局)・まだまだこの市民プロジェクトの役割や議論の方向性など疑問をお持ちの方も多いかと思われま。時間の関係もありワークショップを進めたいと思いま。事務局としては、いつでも疑問にお答えする用意がありますので、遠慮なくお問い合わせいただきたいと思います。

### 3 グループ別ワークショップ

- ・資料をまとめた「クリップ」のカラー別に5グループ（各グループ7人）
- ・進行係は誕生日が一番早い方、発表係は誕生日が一番遅い方。
- ・記録係は事務局チームの学生が担当。

#### <テーマ>

「どんな葛塚地区になって欲しいのか？」

別図1～5 参照

グループ別発表（小池、内山、田中、山岸、五十嵐（信））

### 4 今後の会議予定について

（事務局）・資料5をご覧ください。

年間スケジュールということで、早めに予定を組んでいただきたい。

また、第2回の出席依頼書も資料に含んであります。

第2回のワークショップテーマが明記してあります。

これは、次回への宿題という意味合いですので、考えておいてください。

### 5 その他

（質問）・第2回目以降のワークショップも、今のグループで実施するのか？

（事務局）・毎回違うグループ編成をします。毎回ワークショップで自己紹介しますので安心してください。第4回以降は自分で加わるグループを選択していただくことになるとは思いますが、それまではランダムな組み合わせで進みます。

（事務局）・別紙「ふりかえりシート」への記入をお願いします。

次回以降の会議案内など、できるだけメールを活用したいと考えています。

個人情報ですが、事務局でしっかり管理しますので、お教えいただければ有難いので、よろしくお願ひいたします。

別表1 ふりかえりシートまとめ 参照

### 6 閉会（午後9時05分）

#### <資料>

資料1 北区まちなか賑わい創出事業の経緯

資料2 市民プロジェクトの位置付け、進め方

資料3 これまでの区役所整備に関する経緯

資料4 第1回「まちづくり構想検討委員会」議事録

資料5 全体スケジュール

別紙1 北区役所庁舎図面（A3）、葛塚市街地住宅地図（A3）

別紙2 参考 北区現況図